

資料 1

建築・都市整備・道路委員会
平成 23 年 7 月 27 日
道 路 局

舞岡上郷線の補修・補強工事の竣工について

舞岡上郷線（上郷地区）の既設橋梁等については、建設の経緯とともに事実関係を整理し、安全性の確保に万全を期すため、昨年度、舞岡上郷線検討委員会を設置し対策の方向性について検討を進めてまいりました。

平成 22 年 12 月 7 日に同検討委員会から、「舞岡上郷線の安全性の向上について」の報告書が横浜市長あて提出され、道路局では、報告書の提言に従い、昨年 12 月から補修・補強工事を進めてきました。

このたび工事が竣工しましたので報告します。

- 1 工事名
都市計画道路舞岡上郷線（上郷地区）既設橋梁等補修・補強工事
- 2 工事請負業者
株式会社キクシマ
- 3 事業費
54,247,200 円
- 4 工事内容
・支保工増設工、補修工 ・塗替塗装工 ・橋面防水工 など
- 5 工事期間
平成 22 年 12 月 24 日～平成 23 年 6 月 30 日

【施工前】



【施工後】



支保工増設工

塗替塗装工

【施工中】



橋面防水工

【施工後】



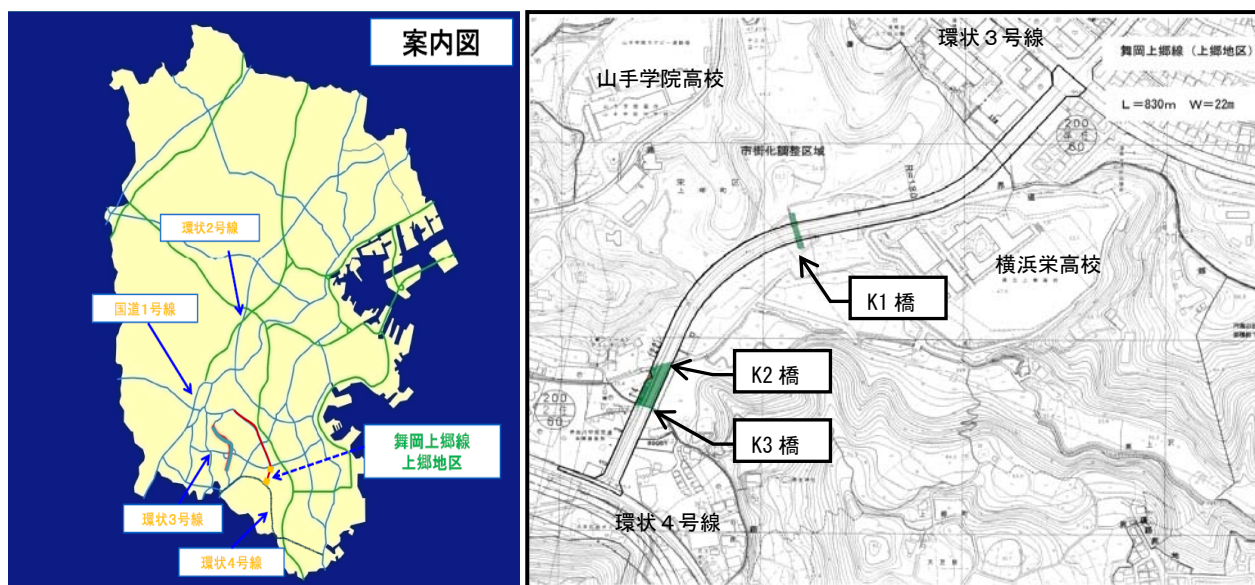
舞岡上郷線（上郷地区）の概要

舞岡上郷線は戸塚区舞岡町を起点として栄区上郷町までの延長約5.9kmの都市計画道路です。上郷地区は港南区港南台8丁目から栄区上郷町に至る、延長830m、計画幅員22mの4車線道路で環状3号線と環状4号線に接続し、栄区南東部からJR港南台駅へのアクセス道路として交通の円滑化に寄与している道路です。

昭和55年に事業認可を取得し昭和62年から工事に着手しましたが、この地域に（仮称）上郷開発計画があり、舞岡上郷線の整備が開発の基本条件とされていたため、地元からの早期開通を求められていた道路局は、2車線の暫定道路として整備し、平成2年より一般の交通の用に供してきました。

その後、開発されないまま約20年経過し、暫定的に整備された既設構造物について、市民からも早期の対策を求められていました。

このため、道路局では、これまでの経緯と事実関係を整理し、安全性の確保に万全を期すため、平成22年6月に外部有識者からなる「舞岡上郷線検討委員会」を設置し、対策等について検討を進め、平成22年12月に委員会より報告書が市長あて提出されました。



【舞岡上郷線検討委員会 報告書（抜粋）】

提言1 短期的な対策の必要性和実施内容

K1橋、K2橋、K3橋等の構造物について、現状では構造強度を満足しているが、補修等の対応をしなければ強度が低下する恐れがあること、また、交通量が多く大型車や路線バスも多く通行する重要な路線であるので地震時の安全性を向上させる必要があること、これらを考慮すれば短期的な対策が必要である。

- ・市民の安全を最優先に考え、横浜市は速やかに補修・補強工事を実施すべきである。
- ・短期的な対策としては、雨水浸入防止、腐食進行抑制、落橋防止、構造補強が妥当である。